

「都市のORサマーセミナー」開催報告

「SSOR 繰越金による研究集会・セミナー開催の援助」を受けて、平成13年8月23日筑波大学において「都市のORサマーセミナー」を開催いたしました。

本セミナーには、学生、若手研究者を中心に41名が参加し、情報交換、研究交流など有意義な会となりました。昼食には筑波米の定食、おやつには筑波のお店の洋菓子を食べ、懇親会は学生街に繰り出し、筑波ならではの運営がなされました。今回のセミナーを契機に、来年以降も同様なセミナー開こうと懇親会は大いに盛り上がりました。なお、頂いた援助金は、筑波大学以外の学生への宿泊費及び交通費補助に利用させていただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

鈴木敦夫（南山大学）・大澤義明（筑波大学）

プログラム

開会挨拶：腰塚武志（筑波大学）

セッション1「施設」 司会：三浦英俊（明海大学）

- (1) 「都市施設の規則的配置パターンを比較する」宮川雅至（筑波大学）
- (2) 「待ち行列を伴う都市施設の数を決めるための数理モデル」吉岡昌一（慶應義塾大学）
- (3) 「連続型マルコフモデルを用いた配置問題について」稲川敬介（南山大学）
- (4) 「施設総数と地域区分の差によるジニ係数の変化」尾崎尚也（筑波大学）

セッション2「交通・ネットワーク」 司会：大津 品（筑波大学）

- (1) 「通勤交通に着目した都市領域内の通過交通量の空間的ならびに時間的分布」田中健一（慶應義塾大学）
- (2) 「ネットワークフローの均衡配分を用いた道路網の評価」吉本 敬（中央大学）
- (3) 「ネットワーク上の道路距離と直線距離～道路網の連続性に着目した迂回率指標」田村一軌（筑波大学）

セッション3「都市とOR」 司会：石井儀光（国土技術政策総合研究所）

- (1) 「数理計画法と都市のOR」田口 東（中央大学）
- (2) 「Aha!の悦楽－直感・言葉・経験との付き合い方－青木義次（東京工業大学）

セッション4「リスク」 司会：出水田智子（会津大学）

- (1) 「無閉路2端子ネットワークにおける最小制御不能流の研究」高橋賢一郎（中央大学）
- (2) 「人通りを考慮した街灯配置による防犯まちづくり」五木田玲子（筑波大学）
- (3) 「人々の移動を考慮した伝染病伝播の微分方程式モデル」中桐裕子（慶應義塾大学）

セッション5「環境」 司会：佐々木美裕（南山大学）

- (1) 「スカイライン景観と小中学校校歌分布との関係について」蓮香文絵（筑波大学）
- (2) 「電車内における人の立ち位置モデルとシミュレーション」藤田陽子（東京工業大学）
- (3) 「多次元GISに対応した位相情報の表現法」中尾象二郎（中央大学）

講 評：伏見正則（南山大学）

閉会挨拶：鈴木敦夫（南山大学）